

令和元年度 愛知県・豊橋市総合防災訓練

愛知県と共同で、南海トラフ地震の発生を想定した大規模な訓練を実施します。

1 訓練テーマ 『地域防災力の向上を目指して ～育てよう未来を支える力～』

2 開催日 令和元年9月1日（日）

3 訓練参加機関等 130機関 約1700人【過去最多】

主な参加者：小中学生防災ボランティア、消防・警察・自衛隊

4 訓練概要

番号	訓練内容・会場	時間（予定）
①	実働訓練・防災啓発 （豊橋総合スポーツ公園）	9:30～12:00
②	表浜津波避難訓練 （小松原海岸）	8:30～9:00
③	帰宅困難者等対応訓練 （豊橋駅、こども未来館）	9:00～10:30
④	小沢校区防災訓練 （小沢小学校）	9:00～12:00
⑤	港湾訓練 （三河港 7-4号岸壁）	9:00～11:30

訓練会場位置図



① 実働訓練・防災啓発

南海トラフ地震発生直後からの活動を想定した救助訓練や医療救護訓練等を実施します。
また、50を超える機関・団体が展示ブースを設置し、市民向けの防災啓発を行います。

ポイント1 初めて被災ビルを3棟設置し、消防等による建物内からの救出訓練やヘリコプターによる吊上げ救助訓練などの迫力ある訓練を実施。

ポイント2 防災グッズをゲットできるスタンプラリーや、日本に1台しかない消防車両「レッドサラマンダー」の展示。

ポイント3 くすのき特別支援学校高等部の生徒、市内小中学生が「防災ボランティア」で初めて参加。



② 表浜津波避難訓練

津波から命を守るための発災筒による地震発生の伝達訓練や地元サーファーによる福祉施設内の入居者避難誘導訓練を実施します。

ポイント 地元海岸利用者によって新たに建設された林道ルートを初めて使用した訓練。



③ 帰宅困難者等対応訓練

豊橋駅周辺の関係機関による初動対応訓練や、帰宅困難者等支援施設までの避難誘導・受入訓練を実施します。

ポイント 帰宅困難者等支援施設であるこども未来館までの避難ルートを実際に歩いて誘導。



④ 小沢校区防災訓練

地域住民企画による安否確認訓練、消火訓練やオリジナルの間仕切りを活用した避難所運営訓練を行い、地域防災力を強化します。

ポイント 1 校区防災訓練を初めて実施。

ポイント 2 道の駅とよはしに設置した防災備蓄倉庫を初めて使用し、小沢小学校までの物資搬送訓練を実施。



⑤ 港湾訓練

国、県、海上自衛隊などが連携し、被害状況調査や航路啓開等の総合的な防災訓練を実施します。

ポイント 海上自衛隊が市の総合防災訓練に初参加。



出典：愛知県報道発表資料

問合せ先 防災危機管理課 課長補佐 須田（電話 5 1 - 3 1 2 5）